

mikan box 3

美柑の箱III

成年向同人誌



成年向
X
18才以上対象



美柑の箱ろ

あるいはMIKANダークネスとか
モノクロ漫画の間に合わせ

■どうも、ヒダカトヨルです。
今回は…またしても、ですが、
MIKANダークネスの続きが
間に合いませんで、このような形で
失礼させていただきます（泣）。
MIKANダークネスの続きは引き続き
制作中です。
もし、待っておられる奇特な方が
いらっしゃいましたら、
今しばらくお待ちください。
モノクロのほうも書きたいなと
思っているのですが、
この体たらくでして。
ちょっとまた新鮮な形で美柑ひ
酷いことをするネタが書きたくて、
今回単発のような形で書かせて
頂きました。
「いいからフルカラー本の続き
早く書けよ」という方も……
いらっしゃるかもしれませんが、
おつきあい頂ければ幸いです。

「ち……ちだし……
それやだし……」

「最低っ……！」

「なんでこんな事するの!?
この変態っ……！」

「はは……まだそんな口が叩けるのか
大したガキだなw」

ビクッ

「ああ……私……
また……き……」

「好きなだけイけよ、ホラホラ」

ビクッ

グ

グ

グ

グ

くちっ



ゴッ

ゴッ

ゴッ

「アッ」

ゴッ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

ギリ

ギリ

「二週間前はあるな強気だったのになあ…
すっかりイキ癖が付いちまって」
「おら、しっかり踏ん張ってないと、
勃起クリチンポ引きちぎれちまうぜ？」
「やだやだやだあああああッ!!」

「いっいっいっいっいっいッ?」

ぐちゃ

ぐちゃ

プッ

「あー、やっぱ耐えきれなかったか」

「あー、やっぱ耐えきれなかったか」

「だからちゃんと踏ん張ってるって言ったのになw」

「また再生してやらないとな」

「あが……あつ……」

「さすがにクリブラシ責めは立つてられないかw」



「おめい……」

「おめい……」

「すっかりこいつが気に入った
みたいだなあ美柑ちゃん？」

「おめい……」

「おめい……」

「ふふふ……
クリトリス元通りに
再生したら
また一から責め抜いて
やるからな……」

「ああ……もめ……
許して……
助けて……」

聞ご合おせし申し訳めしませぬ。

次のページからは、美柑を別のシチコエーションで
色々と蒸漬けにしちゃう、全く別のお話です。

美柑が千ンピラともに
誘拐されて
薬でボロボロにされちゃう
救いもなんもない話。



「やあ、お目覚めかい、美柑ちゃん？」

「怖い顔だねえ…でも…」

「これ塗られても、その顔でいられるかな？」

「ふん」

スッ

ガキ

ガキ

「ほら、素直に股を開けて」

「やっ…何するの!?
なんなのそれっ!？」

「何って、
媚薬だよ媚薬」

「やっ…そんなもの塗らないで」

「やだ…っい触り…っい触り…」

「ほーら、しっかり塗りこんでやるよ」

「や、触らないで…やめな…
助けてリトおめおめっ!？」

「お兄ちゃんは来ないよ。観念しな!」

くり

くり

スリ

ぐ

ぐ

「うああああああああああッ!!!」

「おー、またいったまたいったw
大した淫乱 学生だなあ美柑ちゃんは」

「そんなこと...」

「んあああああああッ!!
いつてるー! もおいつてるの!!
それ止めてええええッ!!」

「ならちゃんといった回数数えてるよ」

「回数間違えたら
最初からやり直しだぜ?」

「五十回いくの数えるまで
電マ止めないからな」

「アハハハハ」



「はは、やっぱり狭いな…さすが学生マンコだ」

「めめっ!!!」

「嫌あああ!!!」

「痛いっ!痛いよ! 抜いてええっ!!!」

ぐちゃ

ズッ

ズッ

ぐちゃ

「まだ痛むのかよ じゃあ…」

「ここに直接媚薬注射してやるよ」

「くわんっ!!!」

「はは、壊れちまうかもなマッ」

「ああ…アアアア… 私のクレーン!!!」

グッ!!!

「あが……ッ……！ 苦しいッ……！」

「さすがにオーバードーズか？ さっきからいきっぱなしだ」

「おーら、学生じゃ普通は味わえない快樂だぜ。存分にいき狂えよ！」

「臍内に出すぞー」

ビクッ

ビクッ

ドクッ

ビクッ

ズッ

ズッ

かく

かく

ドクッ

ビクッ

ズッ

「死ぬっ……私っ……
死んじやう……」

「た……」

「……」

「あああ……たすけ……」

「助けて……」

「おら、今度は乳首だ」

「んあああ……」

「まあ……許して……薬……嫌なの……」

「まだ理性が残ってやがるのか。大したガキだな」

「ここまで来たら徹底的に薬漬けにしてみてえな……」
「……にそんなことできる機会滅多にねえし」

「うわ言みたいなもんじゃねえ？意識ほとんど飛んでるし」

「あ……あああああ……」

かく

かく

かく

ビクッ

ビクッ

かく

プシュ

プシュ

ドチュ
ドチュ



「おぉお」

「おぉおおお……」

「ほんとに壊れちゃったわ」

「おぉおおお」

ひく

ひく

「ははッ…俺達は
美柑ちゃんが
壊れるところを
見たいんだよ！」

「ありったけお注射
してやるから、
遠慮なくぶっ壊れるw」

「そんなの
嫌ああああ!!」

「あー、鼻血出てる。
ちよつとヤバいかもな」

「んお……」

「おぉ」

「おぉお……」

「んおお……」

「あ、ああオオオッ!!」

ひく

ひく

「すっかり反応しなくなっちゃったな」

「子宮やクリに針刺しても悲鳴も上げねえわ」

「あ……」

「んあ……」

「オニイチャン……」

「あ……」

「まあそこそこ楽しめたんじゃないの？
さて、コイツをお兄ちゃんの元に
送り返してやろうぜw」

がく

がく

がく

がく

「タスケテ……」

「さすがに媚薬塗った針
これだけ刺されれば壊れるわw
女子学生だぜ？」

「良かったね美柑ちゃん、
やっと大好きなリトお兄ちゃんに会えるよーw」

「タスケテ……リト……」

ひく

ひく

ア
ニ
ャ

ア
ア
ア

ビク

ビクッ

BADEND...

あとがき&おくづけ

なんとかかんとか終了です。てか、
無事に……出てるんでしょ、この本……。
今回はこういう形になりましたが、フルカラー本の続きの方も
進行しております。順調に進行、とはいかなかったのが、
今回のこの有様なわけですが。
わりとこう、MIKANダークネスのほうは、だいぶネタ的に
煮詰まってきましたので、こう、別のシチュエーションも
書きたくなりますね。結局美柑なわけですけども。
で、今回は薬責め重点で書いてみました。
真似しちゃダメですよ？ ヤクはダメです。絶対。
当面……ToLOVEる本、美柑本は出し続けていくつもりです。
他のジャンルのものも、若干進行中ではあるのですが、
美柑本も書き続けていくので、お付き合い頂ければ幸いです。
MIKANダークネスはあと2、3冊で、ひとまずの区切りが
つきそうですが、多分その後も美柑本書いてると思います。
まあ、そんなわけで、今回はこの辺で。
もし、ご縁がありましたら、次の本でお会いいたしましょう。

**本誌は成年向け同人誌です。
18歳未満の方は閲覧できません！**

美柑の箱Ⅲ

発行：ちらりずむ 著：ヒダカトヲル

発効日：2015/12/31

印刷：PICO

連絡先：t-hidaka@toworu.com
<http://www.toworu.com>

無断転載、ウェブ等へのアップロード等厳禁！

美柑の箱Ⅲ



成年向

ちらりずむ